

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書

事業名 (年度)	創薬基盤推進研究事業 (令和2年度～令和4年度)
研究開発課題名	新規低分子ペプチドミメティクス設計法の開発と検証
代表機関名	国立大学法人大分大学
研究開発代表者名	松岡 茂

総合評価：良い

【評価コメント】

多くの疾患を対象に、計画通り低分子ペプチドミメティクスを設計し、分子設計作業として実施可能であり、従来と異なる設計の新規化合物を創出できることを示す成果を得ている。特に、抗RSウイルス化合物について企業との共同研究契約締結につなげた点を評価できる。

ただし、得られた候補化合物群に標的タンパク結合が弱い／明確でないものが多く、既存薬に対する候補化合物群の優越性を含めて、炭素格子を利用した分子設計の汎用性・効率性が明確といえない等、さらなる改善が必要である。今後、標的分子の特定を含めた理論構築を進展させ、in vivo 活性を示す化合物創出の課題も解決して、企業導出も含め、論文発表までに至る成果を得ていただきたい。

以上